

## 無痛分娩をお考えの方へ

2017年より休止していた無痛分娩を再開します。

「未知の陣痛が怖い。」「もう1人産みたいけど、あの痛みが躊躇させる。」など、再開の要望が多かったためです。

無痛分娩には出産に対するハードルを下げ、気持ちを後押しするメリットがあります。

納得のいく出産が増え、地方の少子化対策に貢献できれば良いなと思っています。

無痛分娩の体制は施設により異なります。以下の内容をご理解ください。

早めに当院の体制をご理解いただき、分娩施設選択の検討材料にしていただけすると幸いです。

### (インフォメーション)

- 当院の無痛分娩は計画無痛分娩になります。妊娠39週ごろの計画出産となります。  
曜日はこちらで指定させていただきます。
- 硬膜外麻酔をつかった無痛分娩になります。
- 開始のタイミングは陣痛開始後、子宮口開大5cmを目安にしています。
- 効果は人によって異なります。痛みが取れないこともあります
- 初産婦さんは‘効果が実感しにくい方’が経産婦さんより多いです。

### (できない場合)

- 院長が出張や病欠で不在時
- 骨盤位や帝王切開後の妊婦さん
- 硬膜外麻酔に向かない持病をお持ちの妊婦さん
- 臨月の内診所見で経産分娩に向かないと判断した場合
- お薬がない場合※

※製薬会社の都合により、全国的に麻酔薬の供給が滞っています(2024年現在)。

### (費用について)

- 費用は8万円程度です。分娩所要時間、出産の時間帯によって12万円になることもあります。緊急無痛分娩は12-14万円になります。

### (説明)

説明は①概要編 ②詳細編に分かれます。

- ① 概要編(10分程度；予約不要)；当院の無痛分娩の体制や注意点についてお話しします。  
特に予約はいりません。

② 詳細編(20 分程度：要予約)：メリットやデメリット、合併症についてお話しします。  
必ず予約が必要です。予約は AM 外来最後の方になります。

(説明を受ける時期)

① 概要編は妊娠の早い時期に説明を受けてください。  
初回妊婦健診時がおすすめです。

② 詳細編は 32 週ごろに行います。

初産婦さんは‘必ず’ご夫婦で説明を受けてください

(申し込み)

ご夫婦で検討のうえ 34 週ごろ、無痛分娩をお申し込みください。